

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：応用音楽学科

資格：講師

氏名：永島 茜

研究分野	研究内容のキーワード
音楽企画運営（アートマネジメント）	フランス音楽政策、アートマネジメント、地域における音楽活動
学位	最終学歴
博士（学術）、修士（音楽学）	東京藝術大学大学院 音楽研究科 応用音楽学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 兵庫県立芸術文化センターバックステージ見学	2017年05月09日	「音楽活用実習」において、アートマネジメントの現場を体験させるために、コンサートホールをはじめとする文化施設への就職を展望する学生に対し、兵庫県立芸術文化センターの大、中、小ホール及びバックヤードの見学を実施した。これにより、音楽企画制作について現実的、具体的に捉えられるようになった。
2. フランス学校参与音楽家による音楽ワークショップ演習	2017年05月	音楽活用ゼミにおいて、海外の事例を紹介するため、フランスにおける学校参与音楽家資格を有する指導者を招聘し、音楽によるコミュニケーションを中心とする音楽ワークショップの展開方法などについて指導を受ける機会を提供した。これにより音楽によるコミュニケーションについて理解を深めさせることができた。
3. 宮っ子おやこコンサートの開催	2017年02月28日	学生に実際のコンサート企画・運営を経験させるために、音楽活用ゼミにおいて、未就学児を養育する西宮市民を対象としたおやこコンサートを開催した。西宮市文化振興財団より依頼を受けていることから、同市との打ち合わせなども含め、コンサート運営のみならず社会で活動することに対して、学ばせることができた。
4. アートマネジメントの第一線で活躍する方の講演	2016年04月01日～2017年01月31日	音楽活用ゼミにおいて、アートマネジメントの現場について具体的に説明するために、音楽企画、運営を第一線で実践するゲストを招聘して話を聞いたり、受講生が企画するコンサートへの助言を受けた。これにより、より来場者の視点で企画運営することができるようになった。
5. 宮っ子おやこコンサートの開催	2016年03月5日	西宮市文化振興財団の委託を受け、なるお文化ホールにて、音楽活用ゼミで「宮っ子おやこコンサート」を開催した。学生に実際のコンサート企画・運営を経験させるために、音楽活用ゼミにおいて、未就学児を養育する西宮市民を対象としたおやこコンサートである。西宮市文化振興財団より依頼を受けていることから、同市との打ち合わせなども含め、コンサート運営のみならず社会で活動することに対して、学ばせることができた。
6. なごやかコンサート（障がい者ボランティア）のコーディネート	2015年11月01日	NPO法人「ちゃれんじひがしなだ」が主催する障がい者を対象とするコンサートのコーディネートをした。毎年本学学部生が出演しているが、前担当教員よりそれらを引き継ぎ、次回公演への企画提案などを行った。
7. 元町ミュージックウィークへの参加	2015年10月04日	コンサート運営の実際を学ばせるため、音楽活用ゼミで招聘した（株）風月堂が主催する元町ミュージックウィークの運営に参加した。現場では、突発的な事象が発生するため、臨機応変に対応する力が付けられた。
8. 兵庫県立芸術文化センターバックステージ見学	2015年06月19日	中核劇場の施設について理解させるため、音楽活用ゼミで、兵庫県立芸術文化センターのバックステージを見学した。大・中・小ホール全てを見学することで、それぞれのホールの適性や、説明を受けなければ判別できないような特殊構造について理解を深めさせることができた。
9. アートマネジメントの第一線で活躍する方の講演	2015年04月1日～2016年01月31日	音楽活用ゼミにおいて、アートマネジメントの現場に興味を持たせるため、音楽に関する企画、運営を第一線で実践するゲストを招聘して話を聞いたり、受講生が企画するコンサートへの助言を受けた。これにより、より現場についての理解を深め、来場者の視点で企画運営することができるようになった。
10. 甲子園会館の音楽会—武庫川音楽祭—の開催	2015年03月08日	音楽活用ゼミで、アートマネジメントを実践的に学ばせるため、音楽学部で実施している甲子園会館の音楽会を開催した宮っ子おやこコンサートと併せて。これは、宮っ子おやこコンサートと併せて開催したため、過密な日程のなかで実務をこなす力をつけさせることができた。
11. 宮っ子おやこコンサートの開催	2015年03月07日	西宮市文化振興財団の委託を受け、フレンテホールにて、子ども（未就学児含む）を対象とする親子コンサートを開催した。
12. 我が国における西洋音楽の受容	2011年04月～現在	「環境と音楽」において、音楽がおかれる環境を学ぶため、我が国に西洋音楽がどのように受容されていったのかを、塚原康子氏の研究を素材としてスライドにまとめ、受講者への理解補助とした。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
1. 宮っ子おやこコンサート記録集	2017年08月20日	音楽活用ゼミで実施しているおやこコンサートの活動記録集を作成した。
2. パリ音楽散歩	2016年～現在	共通教育科目「現在フランスの音楽事情」において、フランスにおける音楽シーンをより具体的にイメージさせるためスライドやフランスのアーティストに関するプリントを作成した。これにより、過去から現在のフランス音楽事情に対して理解を深められることができると考える。
3. 音楽活用ゼミの一年間	2015年11月01日	音楽活用ゼミの活動をわかりやすく紹介するためのパンフレットを作製した。
4. 音楽事業企画の手引き	2013年04月～現在	「音楽事業企画演習」において、音楽事業企画に関する理解を深めるための教材を作成した。
5. アートマネジメントの必要性	2012年04月～現在	主に音楽活用ゼミにおいて、アートマネジメントの概要及び関連する学問領域である文化政策論等について理解を深めさせるためのスライドを作成した。
6. ヴァイオリンの構造と奏法	2010年04月～現在	特別学期「ヴァイオリンを弾こう」や通年授業である「環境と音楽」等において、弦楽器を代表するヴァイオリンについての知識を深めるために、構造と基礎奏法に関する教材を作成した。
7. 音楽と社会	2010年04月～現在	「音楽社会学概論」において、音楽と社会のかかわりについて、バレスチナ自治区におけるサイドとパレンボイムの取り組み事例から検討できるようにするための教材を作成した。
8. サウンドスケープについて	2009年04月～現在	「環境と音楽」において、音楽を音素材として扱うサウンドスケープの考え方を紹介するためにスライドを作成し、受講者の理解に役立てた。
9. 現代フランスの音楽事情	2008年04月～現在	共通教育科目「現代フランスの音楽事情」について理解を深めさせるため、教科書を補足する資料として、フランス音楽政策に留まらず、音楽作品やアーティストなどまで網羅するスライドを作成した。内容は随時更新している。
10. 卒業論文とは	2008年04月～現在	自ら課題を発見し解決する過程を示す卒業論文について理解させるため、学術論文の性質、執筆要領などを整理したテキストを作成した。これにより、学術研究について理解が深められることを期待している。
11. 社会とは—社会学から見た社会の定義について—	2008年04月～現在	「音楽社会学概論」において、日常ではしばしば使われる「社会」についての概念を社会的に分析した場合の考え方をスライドにまとめ、受講者への理解に役立てた。
12. 西洋音楽への招待	2008年04月～2010年	共通教育科目において、西洋音楽の概要を示すため、スライド資料を作成した。これにより、音楽の歴史や楽器などについて理解が深められると考えられる。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 西宮市共通単位講座—フランス音楽散歩—	2017年11月1日予定～2018年1月20日	西宮市大学交流センターが主催する共通単位講座において、フランスの音楽活動について講座を担当する予定である。
2. 西宮市共通単位講座—フランス芸術活動の現在—	2009年09月30日～2010年01月15日	西宮市大学交流センターが主催する共通単位講座においてフランス芸術活動に関する講座を担当した。
4 その他		
1. 西宮市スポーツセンター親子で楽しくリトミック	2017年08月11日	西宮市スポーツセンターが主催する親子体操教室「親子で楽しくリトミック」において、音楽を担当する学生への活動支援を行った。
2. 担任業務	2017年04月01日	応用音楽学科1年次。保護者との連携に配慮している。
3. 兵庫県立芸術文化センタースーパーキッズオーケストラへのインターン参加	2017年03月30日～2017年04月03日	佐渡裕指揮、兵庫県立芸術文化センタースーパーキッズオーケストラの震災復興支援のための熊本東北公演へ同行し、学生のオーケストラ地方公演の実地研修活動を支援した。
4. なごやかコンサート—知的障がい者とともに—	2017年02月29日	神戸市東灘区で活動する知的障がい者のグループホーム活動をする「わっは東灘」が主催するコンサートを企画し、ナビゲーターを務めた。
5. なごやかコンサート（障がい者ボランティア）のコーディネーター	2015年11月01日	NPO法人「ちゃれんじひがしなだ」が主催する障がい者を対象とするコンサートのコーディネーターをした。これまで毎年本学学部生が出演しているが、旧担当者よりそれらの内容を引き継ぎ、次回公演への企画提案などを行った。
6. 兵庫県立芸術文化センターへのインターンシップ紹介	2015年～現在	アーツマネジメントをより実践的に理解させるため、兵庫県立芸術文化センターが実施する事業へインターン参加の機会を提供している。これには、継続的に学生が参加しており、進路選択や卒業後の活動の参考となる機会となっている。
7. 担任業務	2014年04月01日～2016年03月31日	応用音楽学科1～2年次。
8. 登録アーティスト制度の創設	2014年01月	本学部卒業生の演奏活動や音楽活動を支援するため、卒

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
9. 公立文化施設におけるインターンシップ紹介	2008年04月01日～2017年08月01日	業生を対象とする登録アーティスト制度を創設した。音楽活動分野の学習を深めるため、希望する学生に対し公立文化施設（兵庫県立芸術文化センター、灘区民ホール、宝塚市文化財団等）におけるインターン活動を紹介した。
10. 担任業務	2008年04月01日～2012年03月31日	応用音楽学科1～4年次。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 保育士	2016年10月13日	兵庫県－061826
2. 中学校・高等学校一種免許状	2001年03月	中学校教諭I種免許状（平13中1第17671） 高等学校共有I種免許証（平13高1第18345）
2 特許等		

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 宮っ子おやこコンサートのコーディネート	2013年04月01日～現在	西宮市からの未就学児も入場できる音楽企画を実施したい要望をうけ、親子コンサートをコーディネートした。これにより、学生にとっては音楽企画の実践的学習を行える場となり、西宮市民に対しては、未就学児が入場できる音楽会を提供することができた。
2. 宮水学園一芸術は時空を超えて一	2010年01月19日	西宮市生涯学習講座「宮水学園一国際文化一」において、フランスの公的芸術支援を中心に講座を担当した。
3. ひょうご講座	2008年10月10日	兵庫県が実施する「ひょうご講座」において「コンサート開演までの日々」と題し、音楽活用分野の講義を担当した。

4 その他		
1. 私立大阪夕陽丘学園における模擬授業	2017年07月11日	アートマネジメント分野について「音楽を届ける仕事ーアートマネジメントとはー」と題して模擬授業を行った。
2. 学生委員	2014年04月01日～現在	学生委員を拝命した。
3. 武庫川女子大学附属高校における模擬授業	2012年02月02日	本学附属高校生に対して、共通教育授業の雰囲気を経験してもらうため「現代フランスの音楽事情」というテーマで模擬授業を行った。
4. 大阪府立市岡高校における模擬授業	2010年11月11日	大阪府立市岡高校において音楽活用分野に関する模擬授業を実施した。
5. 兵庫県立宝塚高校出張講義	2010年10月03日	兵庫県立宝塚高校において、「コンサートができるまで」と題して音楽活用分野についての出張講義を実施した。
6. 音楽活用公開講座ー舞台を支える人々ー	2010年07月09日	本学オープンキャンパスにおいて音楽活用に関する公開講座を担当した。
7. 兵庫県立明石高校における模擬授業	2009年07月13日	兵庫県立明石高校において「舞台を支える人々」と題して音楽活用分野に関する模擬授業を実施した。
8. 広報入試委員	2009年04月01日～2011年03月31日	広報入試委員を拝命した。
9. オープンキャンパスにおける音楽活用説明	2008年07月～2017年09月	オープンキャンパスにおいて音楽活用の説明、紹介を行っている。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 現代フランスの音楽事情	単	2010年3月31日	大学教育出版	フランスの音楽政策について総合的に記述している。
2. フランス教育の伝統と革新	共	2009年03月31日	大学教育出版	フランス教育学会編、堀内達夫、夏目達也、藤井佐知子、永島茜、他 フランス教育の全体像を示す書籍であり、そのなかの「芸術教育」の部分を執筆した。音楽分野に留まらず、造形芸術や文化遺産保護、新しい芸術分野の教育についても、それらの概要を示し開設した。
3. 生涯学習概論	共			
2 学位論文				
1. フランス音楽政策の変遷とその新たな展開ー公的関与の論理と政策理念の検討を中心としてー	単	2008年03月	東京藝術大学博士学位論文	フランス音楽政策の変遷とその実態を明らかにする目的から、フランス音楽政策を体系的に解明した。併せて、国や地方公共団体による積極的な文化芸術支援の理念である「文化に対する公役務」について検討した。
2. Etude comparative du soutien public pour la musique en France	単	2006年06月	パリ第十大学「音楽企画の管理運営」専門課	フランスの公施設法人「音楽都市」における音楽企画の事例を挙げながら、日本とフランスの公的音楽

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
e et au Japon - exemple de la cite de la musique - 3. フランスの音楽科教育に関する研究—学校外教育力の活用の視点から—	単	2003年03月	程修了論文 東京藝術大学修士論文	支援の実態と在り方について述べた。 フランスの音楽教育について、教育課程の分析を中心に進め、そのなかで学校外の教育力（学校参与音楽家）の力が求められていることを明らかにした。このような音楽家の存在は、音楽の専門教育を受け、演奏活動を行う者が社会的役割を与えられ、活動できる道筋を示すものであり、我が国に有益な示唆を与えられると考えられる。
3 学術論文				
1. フランスの「現在の音楽(musiques actuelles)」にみる音楽政策の在り方（査読付）	単	2014年12月25日	『音楽芸術マネジメント』第6号、pp. 49-58、2014年	フランスの現在の音楽(musiques actuelles)政策について、音楽のみならず総合的な施策として捉え、その全体像を調査研究した。
2. フランスにおける「現在の音楽(musiques actuelles)」政策—音楽政策の新たな側面—	単	2011年	『武庫川女子大学紀要人文・社会科学編』第59号、pp. 125-134.	フランスの現在の音楽(musiques actuelles)政策について、その経緯並びに現状を調査研究した。
3. 生涯音楽行政の可能性—一日の学校外音楽指導者の比較を通して—	単	2008年09月	『日本生涯教育学会論集』第29号、pp. 221-230.	日本の生涯学習音楽指導員とフランスの学校参与音楽家の活動を比較し、生涯学習としての音楽活動に関わる指導者の必要性とその支援の在り方を模索した。
4. 公的文化関与の理論及び制度的検討—フランスの文化に対する公役務の分析から—	単	2006年12月	『アートマネジメント研究』第7号、pp. 31-41.	芸術支援における官民の役割分担について、フランスにおいて公的芸術支援の根拠とされる「文化に対する公役務」の概念から検討した。その際に、フランスにおける諸通達、歴史的判例並びに現在の事例を参考にした。これらから、公的芸術支援が充実しているといわれるフランスにおいても、「芸術への支援」という目的のみで芸術分野が公的支援を受ける法的根拠とするのは難しいことが明らかになった。
5. フランスにおける音楽政策の展開とその運営—『文化的協力の公施設法人に関する法律』の導入から—	単	2006年03月	『文化資源学』第4号、pp. 63-68.	最近のフランスにおける音楽政策の動向を探るため、2002年に導入された「文化的協力の公施設法人に関する法律」を取り上げ、実際の適用事例を含めて検討した。本法の導入によって、文化事業運営は、地方自治体間の連携による文化分野に関する公施設法人の創設が可能となった。これらから、フランスにおける文化政策の新展開が理解され、我が国への参考となることが明らかとなった。
6. フランスにおける学校参与音楽家—音楽普及の面からの位置づけ—	単	2005年03月	『季刊音楽文化の創造—音楽文化と生涯学習の総合情報・研究誌—』第36号、pp. 70-73.	高等教育機関における高度専門性教育の社会への還元という観点から、フランスの「学校参与音楽家」という国家資格を対象に検討を行い、その養成システム、専門性などを我が国の状況と比較した。その結果、受けた専門教育を実地において実践することを考慮した教育方法は、我が国への示唆を与えるものであることが判明した。
7. フランスにおける芸術教育の法的基盤に関する研究—1988年芸術教育法を中心として—	単	2004年09月	『フランス教育学会紀要』第16号、pp. 35-48.	フランスは、芸術文化に多くの公的支援を行っている国の代表として挙げられるが、学校における芸術教育は、不十分であると指摘されてきた。そこで、1988年に制定された「芸術教育法」をその制定過程ならびに制定後の状況を分析した。本法がフランス芸術教育に対してどのような意味を有しているのかを探究した結果、芸術教育の義務化に効果があることが把握できた。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. フランス音楽政策の概要	共	2017年01月31日	アーツカウンシル東京芸術劇場研修生専門ゼミ	永島茜、柳澤藍 東京芸術劇場が実施している研修制度の研修生を対象とした専門ゼミに講師として招聘された。
2. 学会発表				
1. フランスにおける「現在の音楽」政策の位置づけ	単	2013年12月21日	音楽芸術マネジメント学会	フランスの「現在の音楽」政策について、その現状を調査発表した。
2. パリ市における生涯学習としての音楽分野に対する取り組み	単	2011年11月27日	日本生涯教育学会	本学会より研究助成を受けた研究に対する報告発表である。パリ市における生涯学習としての音楽活動について現地調査に元づく現状を報告した。現地調査では、パリ市の公民館や市町村立音楽院などを視察し、公的教育機関による音楽専門教育について調査した。
3. フランスにおける「現在の音楽」政策の開始から現在まで	単	2011年11月20日	日本音楽芸術マネジメント学会	フランスにおける「現在の音楽」に対する公的支援に焦点を当て、その開始と今日までの変遷について発表した。
4. フランス音楽政策の変遷とその新たな展開—公的関与の論理と政策理念の検討を中心として—	単	2008年03月	2007年度グローバルCOE博士論文成果報告会、於・早稲田大学国際会議場	早稲田大学グローバルCOE研究員として、2007年10月に提出した博士論文の内容を発表した。
5. 公的文化事業の運営方法に関する	単	2006年09月	日本アートマネジメント	国や地方自治体の関与する文化事業は、日仏ともに

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
日仏比較			ト学会関東部会、於・東京国際フォーラム	様々な運営方法が用いられている。例えば日本では、独立行政法人、第三セクターや指定管理者への文化施設の運営委託などがあり、フランスにおいては、営造物法人、官民共同運営、行政契約による委託等々、多様な方法が導入されている。これらの比較を行うことで、公的機関が文化に関わる意味や在り方、役割を再考した。
6. 生涯学習政策における芸術文化—音楽分野を中心に—	単	2004年11月	日本生涯教育学会、於・国立オリンピックセンター	従来から生涯学習政策の対象分野として文化芸術は、重要な位置を占めている。しかし、文化芸術は文化政策の対象領域でもあり、両者には交錯している部分が存在する。その背景には、それぞれの活動を所轄する行政組織が異なることが一要因として考えられる。このことが、利用者の視点からはどう捉えられるのかという観点から、生涯学習政策における文化芸術活動振興策の在り方を考察した。
7. フランスの1980年代における芸術教育—議会文書・議事録を中心として—	単	2004年09月	フランス教育学会、於・東京学芸大学	フランスの1980年代における芸術教育政策を、その政策形成過程における論議の把握という観点から、議会文書・議事録を中心に検討を試みた。これらから、1980年代は文化政策も拡大化した時期であり、そのようななかで芸術教育政策には、「文化へのアクセスの機会を平等に確保すること」が優先課題となったことを明らかにした。
8. フランスの音楽政策に関する一考察	共	2004年06月	文化経済学会、於・跡見学園大学	永島茜、根木昭 昨今の我が国においては、文化政策学の体系化も漸く緒につき始めたと考えられる。それは、国の文化政策の一環として文化芸術振興基本法の制定が行われたこと、また学界においても文化政策に関する様々な議論が展開されていることなどに代表される。このような趨勢のなかで、文化政策の対象となる個別の専門分野のうち、とくに音楽に関わる分野に視点を置き、その基本的な構造について日仏比較を行った。
9. 中村弥三次の文化政策論について	単	2004年06月	文化経済学会、於・跡見学園大学	戦前の文化政策論に目を向けると、とくに行政法学者である中村彌三次は、文化政策に関して行政法の観点から、多くの著作を残している。とくに、『新法學全集』（末広嚴太郎編集）には、文化分野が「文化行政法」として、独立した位置を与えられており、中村が執筆している。これらは、行政法の体系に文化分野を適用させる取組として、現代にも多くの示唆を与えるものであると考えられた。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 企画制作「ユネスコ市民講座・チェロとピアノによる演奏会」、於・茨城県立	単	2005年02月	水戸ユネスコ支部	文化教育機関であるユネスコ水戸支部において、市民を対象とする音楽講座を企画した。
2. 企画・制作「栃木県黒磯市立厚崎中学校芸術鑑賞教室」（ヴァイオリン／ヴィオラ講座、演奏）	単	2003年5月	於・栃木県黒磯市立厚崎中学校	中学生を対象とした芸術鑑賞講座を企画立案し、演奏も行った。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 教職課程における器楽教育に関する実践的研究	共	2017年3月1日	学校教育センター年報、第2号、pp. 71-83.	永島茜、末原諭宜、横田賢司、西本淳、奥野敬子、北口晋之、神山 年子、菊萌文子 教職課程に属する講座を担当するなかで、効果的な指導法などを報告した。なお担当部分については、全体を見渡して総説とまとめを行っているため、抽出が難しい。
2. (翻訳) フランスにおける「現在の音楽」支援に関する報告書	単	2017年3月1日	学校教育センター年報	フランスでは、ジャズ、ロック、ポピュラー音楽などにも公的支援が行われているが、その支援に対する政府報告書を訳出した。これは、「現在の音楽」支援に対する議論の内容を理解するうえで、大変重要な史料である。
3. (資料提供・執筆協力) 枝川明敬『地域経済社会の活性化に及ぼす文化活動の効果とその方策に関する研究』	共	2007年7月	『地域経済社会の活性化に及ぼす文化活動の効果とその方策に関する研究（（財）全国勤労者福祉・共催振興協会公募研究報告書）』（（財）全国勤労者福祉・共催振興協会	(協力部分：第3章第1節及び第6章1、2節) フランス文化政策についてその概要を記述した。
4. (翻訳・講演録) 「フランスの文化政策と文化資源としての都市・芸術報告書」静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科『今日のフランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』	単	2007年1月	『ジャン＝フランソワ・シュニエ氏講演録 今日フランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』、16p.	静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科『ジャン＝フランソワ・シュニエ氏講演録 今日フランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』の翻訳を行った。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
5. 「フランスにおけるアートマネジメント教育の動向ーパリ第十大学『音楽企画・管理運営専門課程』の事例からー」『日仏教育学会年報』	単	2006年3月	日仏教育学会年報』第12号、pp. 154-159.	フランスのアートマネジメント教育の実態について、留学経験に基づいてその動向を述べた。
6. (事典項目解説) 「文化芸術と生涯学習」「フランスの文化政策」「研究課題・文化芸術支援の在り方」『生涯学習研究e事典』	単	2006年	日本生涯学習学会e事典(インターネットの事典のためページ表記無し)	日本生涯学習学会が運営する『生涯学習e事典』において、文化活動と生涯学習に関する解説を執筆した。
7. (図書紹介) GANVERT, Gerard “L’ ENSEIGNEMENT DE LA MUSIQUE EN FRANCE : Situation-Probleme s-Reflexions”, l’ Harmattan, 1999, 221p.	単	2005年3月	『日仏教育学会年報』第11号、pp. 279-281.	フランス音楽教育に関する重要な文献を紹介した。

6. 研究費の取得状況				
1. フランス音楽政策の全体像-「現在の音楽」分野にみる対立と統合の構造-	単	2011年04月01日～2015年	日本学術振興会科学研究費助成金 若手研究 (B) 継続	前年度に新規採択された研究課題に対して継続採用された。フランスの「現在の音楽」政策に焦点を当て、公的支援の実態について明らかにするとともに、政策意図をフランス社会における対立と統合の構造から検討した。
2. フランス音楽政策の全体像-「現在の音楽」分野にみる対立と統合の構造-	単	2010年04月01日～2011	日本学術振興会科学研究費助成金 若手研究 (B) 新規	フランス音楽政策の対象領域のうち、「現在の音楽」分野に焦点を当て、公的支援の実態について明らかにするとともに、政策意図をフランス社会における対立と統合の構造から検討した。
3. フランスの公的芸術支援に関する研究-戦略としての芸術文化-	単	2009年04月01日～2011年	日本学術振興会科学研究費助成金 若手研究 (スタートアップ) 継続	前年度に新規採択された研究課題に対する継続採用であり、引き続きフランスの公的芸術支援の実態についての調査と、フランスの国家戦略における芸術文化の位置づけを検討した。
4. フランスの公的芸術支援に関する研究-戦略としての芸術文化-	単	2008年04月01日～2009年	日本学術振興会科学研究費助成金 若手研究 (スタートアップ) 新規	フランスの公的芸術支援の実態について調査し、芸術文化がフランスの存在感を高めるための戦略として、どのように位置づけられているかを検討した。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年02月28日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
2. 2016年03月05日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
3. 2014年～現在	日本アーツマネジメント学会
4. 2012年03月	文化庁「文化活動の現状・実態等に関する調査研究」調査員
5. 2010年～現在	音楽芸術マネジメント学会
6. 2009年04月01日～2010年03月31日	有明教育芸術短期大学非常勤講師
7. 2009年04月01日～2010年03月31日	滋賀大学非常勤講師
8. 2007年04月01日～2008年03月31日	埼玉県和光市文化振興基本方針策定委員会委員
9. 2003年～現在	日本生涯教育学会